

ニュース

～会員拡大特別号～

全国制度研 No. 267

植松直人 Tel.045-901-5896 (すすき野中学校)

<http://www.bekkoame.ne.jp/ha/seidoken> E-mail:seidoken@ha.bekkoame.ne.jp



あなたも制度研でいっしょに学び合いませんか！

子どもの瞳の輝きは 制度研の宝物！

すべての子どもたちに学び・成長する権利を保障するために
学校事務職員は学校に配置されているのですわ！

「私たちは、学校事務職員の労働のあり方を根源的に追求します。それは、学校のはたらきを、子どもの学習権を真に保障する集団のいとなみとして、生き生きと組織させるためです。・・・」と「よびかけ」で25年前に全国学校事務職員制度研究会（全国制度研）が生まれました。

「事務室だより」のお金特集、読みましたよ！とお母さん。3階の流しの蛇口が変になっているよ！と2年生。シックハウス問題があるけどピカピカにしないと掃除の手抜きをしていると思われちゃうんだよな！ワックス塗りどうしよう！と用務員さん。自然教室の積立金未納の生徒は連れて行けないと学年会で話され何とかしなくちゃと思っているんだけど！と担任から。学校には日々たくさんの問題があふれています。

私たちはこの現実から学びながら、子どもたちの目線に立った学校事務の確立をめざし、実践を積み上げてきました。目の前には、たくさんの困難がありますが、「学校にいることの意味」をしっかりと問いかけながら現在を未来につないでいきましょう。「子どものための学校事務」（会誌）にはそのヒントがあふれています。あなたも一緒に制度研で学び合いませんか！！

「学校にいて、子どもたちの加害者にだけはならないようにがんばろうね」と最近よく職場の仲間と話します。それほど今の「改革」の波は凄まじい。問われているのは、学校のあり方、毎日の生活や文化も含めて子どもたちが今どんな状況にあるのかということをしつかり見据え、子どもたちと一緒にどこへ向かえばいいのか具体的に見通しを持つことだと思うのです。

（「会誌99号」より）

ニュースは会員の方に配布していますが、今月号では未会員の方にも読んで頂いて、制度研のことを知ってもらい、出来れば会員になってもらいたく「会員拡大特別号」としました。

制度研に加入すると...

「制度研」は正式名称を「全国学校事務職員制度研究会」といいます。北は北海道から南は沖縄までの学校事務職員の自主的な研究サークルとして、教育費のこと、就学援助のこと、学校施設のこと、学校事務職員制度のことなどについて、学習や実践を深めています。

- 一、年4回発行される「子どものための学校事務」が届きます
- 二、月1回発行される会報「制度研ニュース」で、全国の様子や各地の仲間のことがわかります。
- 三、各地での学習会の情報が手に入ります。(もちろん参加も可)
※冬の集会、教育財政シンポ、各県やブロック毎の学習会 などなど
- 四、夏の全国大会参加費が500円割引になります。
※今年の大会は、島根県松江市
- 五、あなたの地域でのサークルづくりを応援します。

■加入手続きは・・・別添加入申込書をFAXして下さい。後日、郵便振替用紙を送りますので、それで振り込んで下さい。
年会費は6,000円です。(会期は7月から翌年6月です)

※会員になることについては、もう少し考えさせてくださいという方は、「子どものための学校事務」の定期読者になりませんか。
全国の仲間の実践や、大会・講演の記録等が、毎号満載です。
年4回発行で2,500円です。この申込みも別添加入申込書をFAXして下さい。

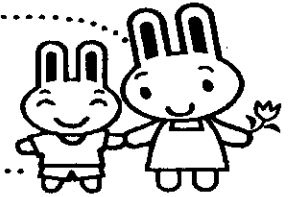
(問い合わせ先) 〒225-0021 横浜市青葉区すすき野3-4-3

横浜市立すすき野中学校

植松 直人 (制度研事務局長)

Tel 045-901-5896 FAX 045-904-2439

制度研と私



採用七年目に初めて参加した全国集會が私と制度研との運命的な出会いでした。「子どものため」という視点で繰り広げられる実践発表や論議にカルチャーショックを受け、ほとんど涙目になったのを覚えています。

それから、全国集會で受けた刺激を学校に持ち帰り、真似できることはやってみて、また全国集會へ、という何年かを過ごしました。思えば私の実践は、常に制度研を道標にしてきたような気がします。

共同実施花盛りの高知県で、何のためなのかわからない複雑な事務処理に追われる毎日を送る私は、今、かつてないほどに心の拠り所を求めています。そしてそれは、「子どものための学校事務」を開けば出える全国の制度研の仲間やその実践にあると改めて実感しています。これからは制度研に期待するとともに、その一員として胸を張れる実践ができるよう頑張っていきたいと思います。

K・S



私が制度研と出会ったのは、学校事務職員に採用された年のことです。折しもその年は、全国大会が地元で開催される年で、当時の所属校の市費事務職員の方が制度研会員だったこともあり、社会人なりたての私は、ともかくまず経験とはかりに良く考えもせずに参加しました。はつきり行っていないにも分らないまま三日間が終わってしまいました。その時感じた熱気というか、雰囲気は何ともいえない記憶となっています。

私にとっての制度研は、学校事務という職に対して様々なスタンスの方と出会うことだと思っています。まあ、私のようにほんやりと過ごす人は居ないようですが・・・(苦笑) また、普段はなかなか知ることも無い他県の様子を見聞できるのは、これから先のことを考える上でとても参考になります。大会などにはなかなか出て行けない人間ですが、これからも、いろいろな勉強していきたいと思っています。

T・M

福島

ワイワイガヤガヤ元気です
福島制度研ニュース「あだたら」の発行
年4・5回の学習会
境野先生（福島大学）を囲んでの学習会も
テーマは“学校事務職員観”
若い会員が多い

埼玉

事務局メンバーを中心に「就学援助班」が活動中
埼玉制度研ニュース「麦の芽」の発行
年2・3回の学習会（内1回は宿泊）
学習・研究の成果「学校事務 Today」現在
3号まで発行
最新号は就学援助特集

東京

2ヶ月に一度のペースで学習会
東京制度研パンフ「こんな学校をめざ
したい」作成中
東京都の「行財政改革新プログラム」
に対峙する内容

広島

広島制度研ニュースの発行
例会を毎月開催
10月は、毎年度「全国大会の報告」です
昨年11月には、山口で行われた中国プロ
ック集会に参加しました

山梨

2ヶ月に一度のペースで学習会
山梨制度研ニュース「かいせんとう」の発行
みんな元気です



高知

高知制度研ニュース「みなみかぜ」の発行
全県の会を年3回（学期に1回）開催。
5月頃に高知制度研総会を、秋に全国大会の報告会を、3学
期は、実践交流したり、県外の仲間を迎えての学習会をし
たりしています。3回のうち1回は、会誌の読書会もするよ
うにしています。

長野

東信・西信・南信・北信の4ブロック別学習会
年1回全県の宿泊学習は、会員外の参加者も大勢います
（もっとも力を入れた活動）
「長野制度研ニュース」の発行

横浜

神奈川大会以降 9・10・11月
と学習会を開催
学習会の案内・報告は全校に配布
若い人の参加もありました

島根

島根制度研ニュース「輪・和・わ!」の発行
定例学習会の開催
平日の昼に「島根版冬の集会」の開催
今年は、何ととっても全国大会にたくさんの
参加者を迎えたい。

和歌山

2008年度で、めでたく20周年を迎えます
・これまでの実践をまとめ、自分たちの礎とする
とともに、会員拡大・制度研アピールに使ってい
きたいと考え、作業中です

実践報告

フリースカートと算数セット

H小学校 N・Y

8月も終わりに近づいたある日のことです。9月の運動会に向けて、どの学年も準備を始めていました。

「洋服の直しをしてくれる業者を知りませんか？」6年担任の女性から声をかけられました。事情を聞くと、バトンクラブの衣装のスカートが体に合わない子が何人かいて、サイズ直しをしなければならない様子でした。

本校のバトンクラブの衣装は、真っ白なハイウエストのフリースカートで、フリースの内側が赤い布地の切り替えになってなかなかデザイン性の高いものでした。また、開校当時に買い揃えたスカートはどれもサイズの小さいものばかりでした。保護者に協力依頼をして、各自家庭で直してもらおう方法も考えましたが、最近ではミシンを持たない家庭もあり、家庭への協力依頼は難しい様子でした。職員の協力で、校内で何とか直せないものかと試みましたが、ターツを広げようにも色の切り替えがあるので、仕上がりが不自然になってしまいます。専門家に任せるしか、このときには解決の糸口は見つからず、運動会に間に合わせることになりました。

本校は開校して18年目になります。いろいろなところで、いろいろなものの買い替えが必要な時期になってきていました。バトンクラブの衣装も例外ではありませんでした。子どもたちの教育条件を良くしようという目的でPTAによるバザーが実施されている学校は数多くあると思います。公費による教育予算削減のなか、公費支出の難しいものはこの利益に頼ることもあります。本校でも10月にバザーが実施されましたが、今回の利益は器楽クラブの楽器を購入するという予定が組まれていました。本校の器楽クラブとバトンクラブは運動会だけでなく、地域のまつりや市民交通安全パレードにも出場していて地域からみえる活動も行っています。このことを武器に校長にダメモトで話してみました。このデザイン性の高い衣装を着るために、夏休みは

ダイエットをしている子もいるらしいとのクラブ担当者の声をきっかけに、話が広がりはじめました。そして、年度末にPTA予算の残額を寄せ集め、少しずつ購入していくことで、PTA運営委員会の承認をえることができました。

後日談ですが、当初のきっかけは保護者からの『クレーム』だったのです。サイズの合わない子のために新しい別のデザインのフリースカートも何枚か用意してあったのですが、どうしてもほかの子と同じスカートををはかせたいという保護者の強い要望が、形を変えてこのような結果を生みました。

本校では、新入学時に保護者に購入してもらおう算数セットの一部を公費で揃えることにより、保護者負担軽減の取り組みをしています。しかし、今年度入学の1年生からまたフルセットが復活してしまいました。このことは校内でかなり浸透していると思っていたのに、よく確認していなかったために、当事者（1年担任と教務主任）だけで決めてしまっていたのです。この出来事を反省材料にして、新入学時の教材選定はなるべく多くの職員が関わり、職員会議にもかけることになりました。

単品でいくつか組み合わせると購入していくと、セット価格よりかなり高額になってしまうというのも原因のひとつだったようです。教員はとかく、定価で物を購入することに疑問を持たない傾向があるようです。見積書を出してもらっただけで、案外割引になることもあるのです。こんな話を広げながら、価格の交渉は私の役割としてもらいました。

たとえ、やむなく保護者負担で購入している物でも、教材にちがいはありません。公費・私費の別があっても、予算化していくことで、必要なものを必要な時に、必要な数購入できるようにしていくことは大切なことです。このステップを踏むことの大切さを職員全体に浸透させていくことも、私の大きな役割なのかなとも思います。

日ごろ、私は『ピンチは最大のチャンス』と捉え、できるだけ前向きに仕事を進めるようにしていけたらいいなと思っています。今回の出来事はまさしくピンチをチャンスに変えたのでした。また、話を広げることも大切です。教材は教員だけの問題ではないはずで、たとえ一人の子どもに起こっている問題でも、学校全体を変える出来事にもなり得るのです。

今年の全国大会は島根県松江市

期日：7月31日(木)～8月2日(日)

会場：松江市 玉造温泉 「松の湯」

■日 程

○7月31日(木) 13:30～16:00

- ・基調提案
- ・記念講演

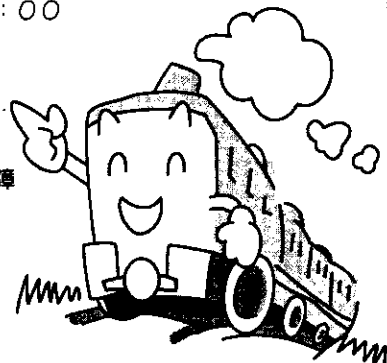
○8月1日(金)

- ・分科会 9:00～16:30
 1. 子どもの学習権と就・修学保障
 2. 学校予算と教育費
 3. 学校環境と施設づくり
 4. 教職員の権利と学校事務
 5. 学校づくりと子ども・地域
 6. 学校事務職員制度のありかた

・分散交流会 19:30～21:00

○8月2日(土) 9:00～12:00

- ・テーマ別学習会…3つのテーマに別れて学習



■参加費 5,000円(会員は4,500円)

■宿泊費 2泊5食 23,000円

■子ども学校&保育

お子さんと一緒に参加予定の方もご安心ください。子どもたちも楽しく学べる学校も用意しています。

※詳しくは4月に発行する大会要項をご覧ください

※最新の情報は制度研のホームページの中の、「島根大会準備速報」でお伝えします。